

## 第4学年 総合的な学習の時間指導案

日時 : 令和 年 月 日 ( ) 第 校時  
 対象 : 第4学年 組 名  
 授業者 :  
 会場 :

### 1. 単元名 「地域安全マップを作ろう」

### 2. 単元の目標

○自分の住んでいる地域を点検して「犯罪が起こりやすい場所」（だれもが「入りやすく」、だれからも「見えにくい（見られにくい）場所」）をスクールタクトで作成する活動を通して、不審者の「人」ではなく、犯罪が起こりやすい「場所」に着目させる。そして自分の危険予知能力を高め、安全に行動できるようにするとともに、自分の住んでいる地域の安全安心なまちづくりに参画しようとする態度を育てる。

### 3. 単元の評価規準

課題設定及び解決能力	学習への主体性・協働的な態度	探究的な見方・考え方	自己の生き方
・「地域安全マップ」作りの基準である「入りやすく見えにくい」の意味を理解し、「地域安全マップ」をつくる計画を立てることができる。 ・「地域安全マップ」作りを通して、その場所の危険を理解し、安全に過ごすための方法を考えることができる。	・友達の住んでいる地域の危険を理解し、自分の住んでいる地域や自分の立場で危険を考えて助言をすることができる。 ・タブレット端末（iPad）を使って写真を撮り、スクールタクトを使って、地域安全マップを作成することができる。	・地域安全マップの作成において危険な場所と判断しやすい写真を撮り、相手に分かりやすい言葉で表現することができる。 ・自分たちの住んでいる地域の危険な場所はどこであるかを適切に判断し、安全な場所にする方法を考えている。	・自分の住んでいる地域の危険はどのあるのかを考えながら「地域安全マップ」作りに取り組もうとしている。

### 4. 指導計画と評価計画（全10時間扱い）

時	小単元	主な学習内容
1	地域安全マップについて知ろう	○危険な場所はどんな場所かつかむ。 ・危険な「人」は見ただけでは分からないことを知る。 ・動画教材 DVD「景観で学ぼう！ 新・地域安全マップづくり DVD」を見る。
2	地域安全マップをつくる計画を立てよう	・危険な「場所（景観）」であればただで分かることを知る。 ○フィールドワークのために必要なことを確認し、準備する。
適宜	地域に出て調査しよう	○フィールドワークをする。 ・「入りやすいか」「見えにくい」を基準に調査する。 ・気づいたことをメモし、写真を撮影する。 ・家の人にインタビューする。
3～9	地域安全マップをつくらう	○地域安全マップを作成する。 ・スクールタクトを使った地域安全マップのつくり方を知る。 ・「入りやすい」「見えにくい」という言葉を使ってスクールタクト上で地域安全マップにまとめる。 ・抽象的な言葉ではなく、具体的な言葉を使ってまとめる。
10 (本時)	地域安全マップを発表し合い、地域の安全について考えよう。	○スクールタクト上で作成した地域安全マップを発表し合い、地域の安全について考える。

### 5. 研究主題に迫るための指導の工夫（授業観察の視点）

#### (1) 学びの個別最適化を図る（個に応じた学び）

一人一台タブレット端末を活用して、自分の住んでいる地域を自ら調べることを通して、個々でオリジナルの地域安全マップが作れるようにする。

#### (2) 学びの協働化を図る（対話・学び合い）

個々で作成した地域安全マップをスクールタクト上で発表し合い交流することで、学び合いを深める。

#### (3) ICT 機器や地域人材等の効果的な活用（EdTech）

各自が作成した地域安全マップを全体での発表会（は）行わず、スクールタクト上で共有できるようにする。

#### (4) 授業のユニバーサルデザイン化（視覚化・焦点化・共有化）

「地域安全マップ」を作成するにあたり、見本を作成し、学習に見通しがもてるようにする。また、フィールドワークを行う際には、調査する基準を明確に記したワークシートを活用する。

6. 本時の指導（10 / 10時間扱い）

(1) 本時の目標

- 自分や友達で作成した「地域安全マップ」を通して、自分や友達の住んでいる地域の危険な場所から安全に生活するための方法について考えることができる。

(2) 本時の展開

<p>課題把握・見直し</p>	<p>本時のめあて みんなで「地域安全マップ」を発表し合い（見合い）、地域の安全について考えよう。</p> <p>今日は、各自が作成した「地域安全マップ」を発表し合い、地域の安全について考えてもらいます。今までどんなことをポイントにして「地域安全マップ」を作成しましたか。</p> <p>「入りやすいか」、「見えにくい」をポイントにして作成しました。</p> <p>「入りやすい」、「見えにくい」場所が危険な場所でしたね。では、どんな所が「入りやすい」、「見えにくい」場所ですか。</p> <p>中央公園のトイレです。古くて汚い感じがします。</p> <p>※「地域安全マップ」を作成したときに「入りやすい」「見えにくい」ということを意識して写真を撮り、まとめてきたことを振り返るようにする。 ※「地域安全マップ」は事前に児童がスクールタクトを使って作成したものを活用する。</p>
<p>思考・判断・表現活動</p>	<p>みんなが「地域安全マップ」を発表し合い、友達の住んでいる地域の危険について考える。</p> <p>スクールタクトを使って、友達の作った「地域安全マップ」を見ます。「いいね」と「感想」を書きましょう。</p> <p>この場所は、家の塀が多く、周りからは見えづらくて危険な所は、自分の住んでいる地域にもあります。</p> <p>※スクールタクト上で友達の作成した「地域安全マップ」を見て、「いいね」を付けてから「感想（コメント）」を書かせるようにする。「いいね」を付けるポイントは、自分にとって友達の示した場所が共感できる場合とする。「感想（コメント）」は、共感できた理由を具体的に書くようにする。 ※時間を十分に確保し、多くの友達の「地域安全マップ」を見て「いいね」を付けたり、「感想（コメント）」を書けるようにする。 【評価】自分や友達の作成した「地域安全マップ」から、友達の住んでいる地域の危険について考えることができる。</p>
<p>学び合い・まとめ</p>	<p>「いいね」や「コメント」から全体で自分たちの住んでいる地域の安全について考える。</p> <p>今からみんなの「いいね」や「感想（コメント）」から、全体で自分たちの住んでいる地域の安全について考えます。</p> <p>学校の西側の道路は、ガードレールが無くて、危険だね。</p> <p>その発表に対して、どうすれば安全になりますか。</p> <p>ここは、みんなで歩くと安全だね。</p> <p>※「いいね」の数だけでなく、感想や児童が作成したものから、全体で共有するのが良いものを取り上げて板書し、「危険な場所」→「安全」に生活する方法について考えられるようにする。 【評価】自分や友達の作成した「地域安全マップ」から、自分や友達の住んでいる地域の安全について考えることができる。</p>
<p>振り返り</p>	<p>「地域安全マップ」の振り返りをする。</p> <p>「地域安全マップ」の振り返りをします。スクールタクトの自分のコメントのところに、「地域安全マップ」の学習を通して学んだこと書きましょう。</p> <p>自分の住んでいる地域だけでなく、友達の住んでいる地域にも同じような危険があったので、学校の行き帰りは、気を付けて歩きたいと思いました。</p> <p>※振り返りを書く時間を十分に確保し、時間があれば何人かの児童が発表できるようにする。</p>